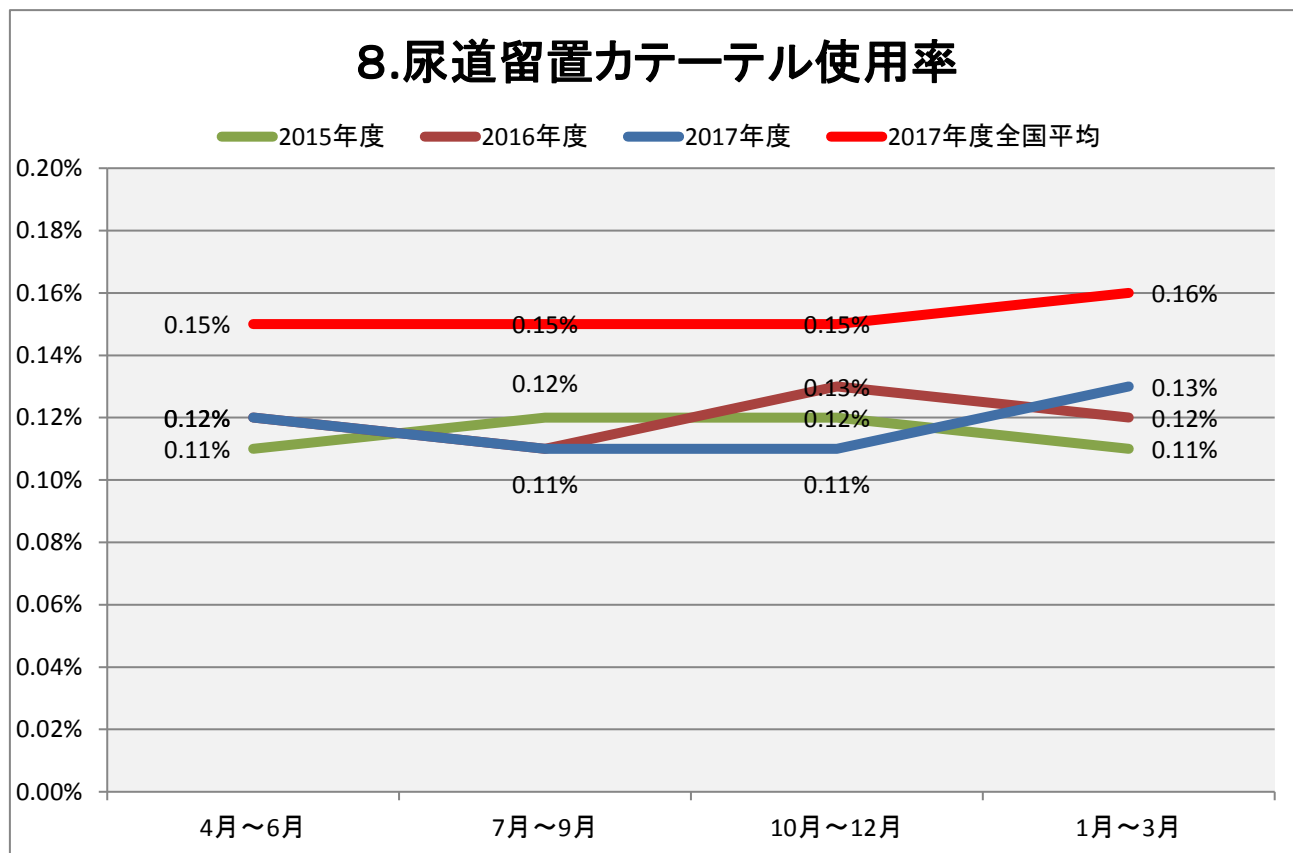


8.尿道留置カテーテル使用率

(1)調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2017年度	0.12%	0.11%	0.11%	0.13%
2016年度	0.12%	0.11%	0.13%	0.12%
2015年度	0.11%	0.12%	0.12%	0.11%
2017年度全国平均	0.15%	0.15%	0.15%	0.16%

(2) 指標の説明 尿路感染症は医療関連感染の中でも最も多く、約40%を占め、その80%が尿道留置カテーテルによるもの、CAUTIです。医療機関で起こる血流感染の15%はCAUTIの合併症であると推計されており、その寄与死亡率は15%を超えます。CAUTIのリスクは医療機関、部署、患者の特性に左右されますが、エビデンスレベルが高い予防策の実施により、CAUTIの65%～70%は予防可能と推計されています。

(3) 定義 分子：尿道留置カテーテルが挿入されている延べ患者数
分母：入院延べ患者数

(4) 考察 この指標は、値が高いか低いかをみるものではなく、あくまでカテーテル関連尿路感染症の指標を算出するための事前準備指標であり、どのくらいの患者さんに尿道留置カテーテルが使用されているかを確認しています。